

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(国)151号	
事業毎の通番		1	市町村名	下條村	箇所名(ふりがな)	
事業目的		国道151号は飯田市を起点として愛知県豊橋市へと至る道路で、三遠南信地域を南北に結ぶ広域的な幹線道路であるとともに、第2次緊急輸送道路に指定され、災害発生時の広域的な応急対策活動を支える重要な路線となっている。また、地域の生活道路としての重要な役割を担っている。現在の粒良脇トンネルは、昭和39年に供用された後、幅員が狭く、監査廊を撤去するなどして車道幅員を確保しているが、大型車同士のすれ違いが生まれず、交通のネック箇所として、早期改良が求められている。本事業は、新たなトンネルの整備により、安全で円滑な交通の確保を図るものである。				
しあわせ信州創造プランにおける位置付け		5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)	事業実施の根拠法令等	道路法		
関連する事業、計画等		南信州広域連合第3次広域計画、飯伊圏域都市計画マスタープラン				
保全対象・範囲 受益対象・範囲		計画交通量：9,500台/日				
着手年度	平成27年度	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)	
完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	1.4	国庫	その他 県債 一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路築造工 L=820m W=6.5(7.5~8.0)m			2,500,000	1,500,000 900,000 100,000	
年度事業内容(主な工種)	測量設計一式、地質調査一式、用地測量一式、用地補償一式			50,000	30,000 18,000 2,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間・経費等の減少 30億円 緊急輸送路の整備 通学路対策				
	間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進				
評価の視点	必要性	○代替道路の有無：代替道路があるが安全性低い ○交通結節点アクセス：バス路線 ○観光振興：観光地に通じる道路(新野高原、富草、阿南温泉) ○地域の活性化：中心市街地と山間部を連絡し、活性化に資する			評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン 事業着手 ○緊急輸送道路の路線指定：緊急輸送路(2次) ○地域指定：地震防災対策強化地域			評価	A
	効率性	○費用対効果(B/C)：1.4 ○事業期間：7年(H27~H33) ○工法等の比較検討：ルート比較による検討を実施 ○他事業との連携：なし			評価	B
	緊急性	○近年の交通事故件数：H23:6件、H24:12件、H25:15件 ○危険箇所対策：長寿命化修繕計画の位置付あり 切土区間は法面の落石対策施設を設置 ○歩道整備：既設自歩道トンネルを残し、車両交通を新設トンネルに転換する ○道路構造：車道幅員 5.3m			評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者以外にも周知(H25.12~H26.2の間に地元説明会と地区回覧により広く周知) ○地域の取り組み：積極的な取り組みがある(下伊那土木振興会、下伊那郡南部地区議員会) ○地域の合意形成：合意形成が図られている ○住民との協働：今後住民の関与が見込まれる			評価	A
	部意見	事業の必要性、重要性及び緊急性が高いため、平成27年度から新規事業化したい。	行政改革課意見	当該トンネルは、幅員が狭く大型車がすれ違いできない。また、第2次緊急輸送路でもあることから、重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	評価結果	総合評価
				○	A	

事業概要説明図表	位置図		状況写真	
	平面図			
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的背景・社会的背景	昭和39年の供用後、平成元年には自歩道トンネルを設置し、トンネル内の監査廊を撤去して車道の幅員を拡げているが、依然として大型車同士のすれ違いは困難な状況にある。また、トンネル周辺では人身事故を含む交通事故が多発しており、地域から早期改良が強く求められている。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	・下伊那土木振興会、下伊那郡南部地区議員会、下條村などから毎年、改良要望が出されている。		
	③事業説明等の経緯	・平成25年12月~平成26年1月 地区役員、関係地権者を対象に地元説明会を開催(計3回) ・平成26年2月 地区回覧によりトンネル計画の周知を図っている。(粒良脇、山田河内地区の全世帯を対象)		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	・しあわせ信州創造プラン「事業着手」 ・本路線は南信州広域連合広域計画において、地域拠点を結ぶ主要幹線道路に位置付けられている。 ・本路線は飯伊圏域都市計画マスタープランにおいて、広域連携軸に位置付けられている。		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・ルート選定は、既存集落や店舗等を極力避け、地域の生活環境の維持に配慮する。		
	⑥地域活性化への影響と配慮	本路線は、飯田市都市圏の中心市街地と、下條村・阿南町・天龍村等を連絡する幹線道路であり、整備により地域の生活支援や市街地の活性化に寄与するものである。また、三遠南信自動車道から新野高原等の観光地へのアクセス道路として観光面での支援効果が期待される。		
	⑦その他	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 24' 5" 東経:E 137° 47' 23"	